

# 西鉄天神大牟田線 桜並木駅



外観

「桜並木駅」は、雑餉隈駅から春日原駅の間に、同線では14年ぶりに開業された新駅。交通渋滞の緩和などを目的に高架化事業とともに、計画。公募による新駅名は、駅南側の「桜並木通り」を由来とする。



トイレサイン



大きな人型のピクトグラムを要所に表示。さらに通路両側には、トイレ全体の触知図を掲示している。駅名にちなみ、駅舎のイメージカラー白と若緑色のアクセントを基調とし、各サインには桜の花びらをあしらっている。



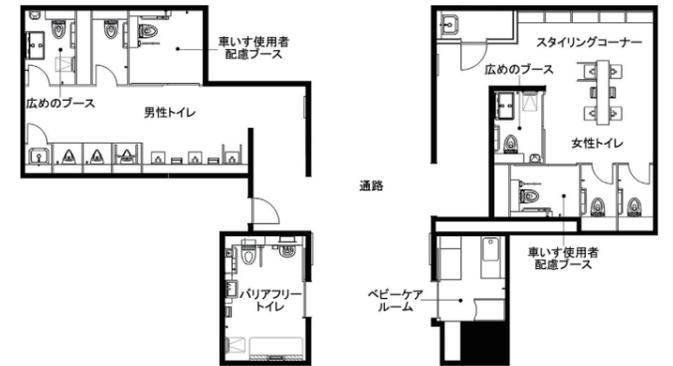
女性トイレ 全体



入口には、トイレ内の設備がひと目でわかる視認性の高いピクトサインと日・英表記を掲示。開放感のあるトイレ空間の照明は、駅コンコースで使用しているボックス型のライン照明をイメージしたデザインとなっている。

## トイレ図面

改札に向かう通路を挟み、両側に男女トイレを分散設置することで、誤入室しないよう配慮。また、乳幼児連れの利用者に配慮し、女性トイレに隣接してベビーケアルームを設けている。



## 水まわりの特長

### 建物の特徴

西鉄天神大牟田線14年ぶりの新駅となる「桜並木駅」。周辺は住宅地や生活利便施設が充実、多くのファミリー層が住まう住環境の優れた地域。雑餉隈駅から約500mという至近距離ながらも、1日に約3,500人(2024年現在)が利用する。また、連続立体交差事業による線路の高架化により道路渋滞も緩和し、利便性向上と沿線活性化に寄与している。「桜並木」という駅名は一般公募によるもので、福岡市や地元代表者との意見交換会を経て命名し、地域の皆様に末永く愛される駅になってほしいという思いを込めている。駅舎のデザインを行う上でコンセプトを「在りし日の豊かな自然に想いをよせ、優しく芽吹く街のエントランス」とし、駅を中心として新しい街の賑わいが創出されていくことが期待されている。

### 水まわりの特長

トイレは、駅舎の計画において重要視された。わかりやすいサインをはじめ、レイアウトや設備などを充実。車いす使用者を含め、さまざまな利用者が快適に使用できるように、2021(令和3)年3月に改正された建築設計標準にあわせたバリアフリートイレを設置。さらに、一般トイレ内にも、車いす使用者配慮ブースとお子様連れに配慮した広めのブースを設け、機能を分散している。照明にもこだわり、男性トイレは間接照明で落ち着いた雰囲気演出。女性トイレは駅コンコースで使用しているボックス型のライン照明とイメージを連動させた。女性トイレには、身支度や化粧直しができるようスタイリングコーナーを設置。個室感のあるブースやアイランド型洗面コーナーなど付加価値を持つ快適なトイレを実現させた。

## 建築概要

名称	西鉄天神大牟田線 桜並木駅
所在地	福岡県福岡市博多区竹丘町3-4-1
施主	西日本鉄道株式会社
設計	株式会社日建設計
施工	建築 鹿島・大林・西鉄エンジニアリング共同企業体 設備 第一工業株式会社 電気 西鉄ビルマネージメント株式会社、株式会社きんでん
竣工年月	2024年3月
敷地面積	2,636.30㎡
建築面積	1,936.56㎡
延床面積	2,976.90㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上2階

## おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CSN  
ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリコモコン):TCF5831AUY  
自動洗浄小便器:UFS900JCS/ハンドロセラフロアPU:AB690BR  
壁掛ハイバック洗面器:LSA125AC/クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC430WJ  
フラットカウンター・バリアフリートイレパック:XPDA7LS7112WWW  
コンパクト・バリアフリートイレパック:UADAK02L1B2ANN2WA  
収納式多目的シート:EWC520ARS/LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80019



女性トイレ 洗面コーナー

アイランド型の洗面コーナーは、手洗いに特化。滞在時間を短縮するために鏡をあえて設置せず、別途スタイリングコーナーを設けている。洗面器の1ヶ所を高さ550mmに設置し、お子様の使いやすさに配慮している。



女性トイレ スタイリングコーナー

スタイリングコーナーには、顔全体に光が均一に当たり化粧がしやすいLED照明付鏡を設置。さらに、高さ違いのカウンターを設け、車いす使用者にも配慮。カウンターの下部は荷物棚として利用できる。



女性トイレ 大便器ブース



バリアフリートイレの機能を分散させるため、男女トイレに車いす使用者配慮ブースと、お子様連れに配慮した広めのブースを各1ヶ所設置。各ブースには、内部の設備がひと目でわかるよう、ピクトグラムを掲示している。

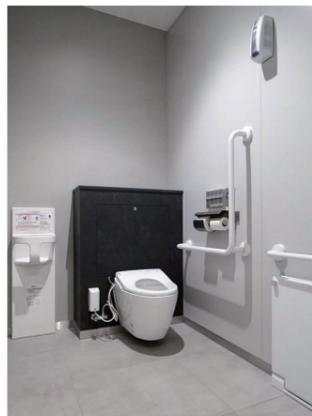


男性トイレ 洗面・小便器コーナー

洗面器の間には、床への水垂れに配慮し、風の吹き返しや水滴の飛散を抑制する吸引式のクリーンドライを設置。小便器の間にはブライパーに配慮して、顔まで隠れる程度の高さ(1800mm)の仕切りを設けている。



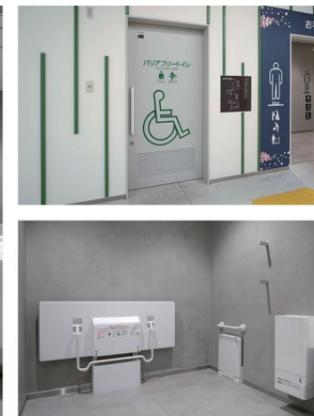
男性トイレ 大便器コーナー



ユニバーサルデザインに配慮し、男女トイレの全ブースに手すりを設置。お子様連れに配慮したベビーチェアとフィッティングボードを備えた広めのブースは、バリアフリートイレとの機能分散を図っている。



バリアフリートイレ



バリアフリートイレの空間は、建築設計標準に沿って1800mmの内接円が入る広さを確保し、オストメイトや収納式多目的シートを完備。さらに、フックを2ヶ所設けて、手荷物にも配慮している。